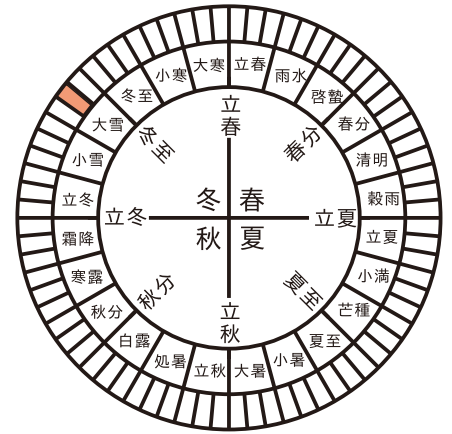


大雪 (いよいよ本格的に雪が降り出すころ)

次候 熊穴に蟄る(くまあなにこもる)

熊が穴に入って 冬ごもりするころ



みなさんこんにちは、むかつちはかせです。

雪や冬の渡り鳥など、冬の便りが続々と届きつつあるこのごろ、いかがお過ごしですか？

野外では、カエルやヘビ、カナヘビなどの姿を見ることがなくなり、野山がお休みの機関に入っているように感じられます。

この時期、大きな池などの水辺に行くと、カモやハクチョウなど、冬の渡り鳥たちがたくさん見られます。

先日、仙台近郊の『大沼』に行ってみると、とってもたくさんのカモとハクチョウがいました。

この子たち、冬を日本などの温帯で過ごし、春から初夏にシベリアや北極圏に移動して子育てをする生活を送っています。一年での移動の距離は、渡る場所にもよりますが、往復で8000kmくらい。すごくスケールの大きい生活だと思えます。

渡りについての話題は、以降のメルマガで取り上げさせていただくことにして、今日は、白鳥について。

日本に渡ってくる白鳥は、オオハクチョウとコハクチョウの2種類。白くて、体がふっくらして首が長くて。両種ともよく似ていて、慣れないとなかなか見分けが難しい。私も最初は同じに見えていました。

見分けのポイントは、くちばしの根元にある黄色いところの大きさです。

慣れてくると、ぱっと見たときに、コハクチョウは首が短い感じに見えます。

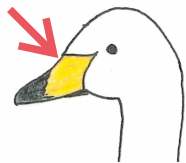
お近くで白鳥を見かけた際には、じっくりくちばしの根元を観察していただけると幸いです。

大雪 次候 熊穴に蟄る むかつちはかせ



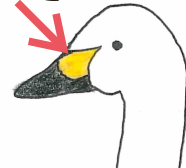
きいろいところが…

おおきい



おおはくちょう

ちいさい



こはくちょう



むかい*いきもの研究所
Mukai*ikimono Labo.
E-mail ikimono@mukai-ikimono.com
HP <https://www.mukai-ikimono.com/00top.html>
FB page <https://www.facebook.com/mukai.ikimono/>

Email



HP



FB page

